

Globethics Repository



業務遂行基準 [Standards of Business Conduct]

This page was generated automatically upon download from the Globethics Repository.
More information on Globethics see <https://www.globethics.net>. Data and content policy of Globethics Repository see <https://repository.globethics.net/pages/policy>.

Item Type	Preprint
Authors	Microsoft
Rights	With permission of the license/copyright holder
Download date	2026-09-23 02:22:07
Link to Item	http://hdl.handle.net/20.500.12424/211977

業務遂行基準

私たちの行動はすべて、誠実でなければならないのです。



Satya Nadella からのメッセージ



親愛なる従業員の皆様へ

Microsoft に入社した 22 年前、私はテクノロジーを通して世界を変えることができると信じていました。この信念は現在も変わりません。私たちはサービス、ツール、アプリケーション、デバイスを開発し、人々はそれらを利用して自らの可能性を広げています。私たちの目標は、簡単に言えば、お客様とパートナーがモバイルファースト、クラウドファーストな世界で成功するようサポートすることです。

モバイルおよびクラウドファーストの時代に生きるということは、人々や企業に Microsoft を信頼して情報やデータを預けるよう求めるということです。個人、企業、政府機関を相手にビジネスを運営し、進めていくうえで、信頼は最も大切なものです。私たちは、誠実さと正直さをもって倫理的な行動を取るという共通のコミットメントを通して、信頼を築き、維持します。

Microsoft の成功は、皆さんにかかっています。Microsoft は高い倫理基準を設けています。従業員の皆さんは、これらの基準に従って行動することが求められます。法律を守り、Microsoft のポリシーを遵守することが、あらゆる従業員にとって最優先事項であり、最も重要な責務です。たった 1 人の従業員による一瞬の判断ミスが、お客様にとっての Microsoft の価値や信頼を台無しにしてしまう可能性があります。Microsoft の従業員として、皆さんは、高い倫理基準を維持し続け、誠実さをもって Microsoft の業務を遂行することが求められます。

Microsoft の業務遂行基準は、Microsoft の企業としての価値観の延長線上にあり、倫理的なビジネス慣行と法令遵守に努めるという、企業としての継続的な責務が反映されています。Microsoft は皆さんに、業務上の意思決定を下すときは、情報を十分に得たうえで正しい判断を下すよう期待しています。そのため、業務遂行基準は、皆さんが自分自身と Microsoft にとって正しい決定を下す助けとなるように考えられています。

業務遂行基準は、Microsoft の従業員が直面する可能性のあるあらゆる問題や状況を網羅することが目的ではありません。これらの基準は、Microsoft を運営するための原則やポリシーをまとめたものであると同時に、それらの原則やポリシーによって支えられています。皆さんは、自分の行動の指針や参考として、Microsoft の企業ポリシーと併せてこの基準を活用する必要があります。不明な点や懸念がある場合は、業務遂行基準に記載されているリソースを活用してください。また、マネージャーの皆さんは、この基準を活用して、自分のグループ内で責任ある行動と誠実な行動の文化を育み、それに対して報いる必要があります。

Microsoft の全従業員は、Microsoft の業務遂行基準、ポリシー、および法令を理解、遵守する責任を負います。私たち全員に法令遵守や倫理上の懸念を提起する責任があります。そして、Microsoft は、皆さんが懸念を抱いているなら、その懸念を聞きたいと考えています。Microsoft は、良心に基づいて助言を求めたり、業務遂行基準違反の可能性を報告したりしたすべての従業員への報復行為を禁じています。

私は、革新や変化の加速、改善、最高の仕事をするをを求める従業員にとって、Microsoft は世界最高の企業であると、固く信じています。Microsoft の主要な価値観の体現、そして倫理的および法的な行動の遵守へのご協力に感謝します。私たちの行動はすべて、誠実でなければならないのです。

Satya Nadella
最高経営責任者

序文

Microsoft の主要な価値観	04
私たちの責務	06
報告と助言	08
倫理的な意思決定をする	11

法令および Microsoft の ポリシーを遵守する

01. 国際的な事業活動	14
02. 知的財産	14
03. 公正な競争と独占禁止	15
04. 調査、査察、取り調べ	15
05. 汚職防止	16
06. 貿易統制	18
07. 贈答品と接待	20
08. ロビー活動	22
09. 購入に関する決定や慣行	23
10. サプライヤー	24
11. 代理事業者	24

情報の管理と保護

12. 機密情報および専有情報	28
13. 情報に関する公正な慣行	29
14. 情報管理	29
15. インサイダー情報と証券取引	30
16. 競合企業情報	32
17. ソーシャル メディア	32

責任を持って業務を遂行し、 世界中のコミュニティに 貢献する

18. 責任あるビジネスリーダーシップ	36
19. 企業市民活動と社会奉仕活動	36
20. 人権	38
21. 政治活動と社会貢献	40
22. 品質	40
23. 持続性	41

ダイナミックで多様な職場環境 の提供

24. オープンさ、誠実さ、敬意.....	44
25. 多様性.....	44
26. 雇用機会均等.....	45
27. 情報と技術の利用.....	46
28. 安全性と衛生管理.....	46

責任を持って Microsoft 資産 を管理する

29. 財務に対する誠実さ.....	50
30. 利益相反.....	52
31. 財政責任.....	54
32. 資産の利用と保護.....	54
33. サードパーティソフトウェア.....	55
34. コミュニケーション.....	55

Microsoft の業務遂行と コンプライアンス プログラム

管理と施行.....	56
基準違反がもたらす深刻な結果.....	57
基準の不適用.....	57
このブックレットのバージョン情報.....	57
"Microsoft" および "従業員" の定義.....	57

Microsoft の主要な価値観

価値観とは何でしょう?簡単に言うと、
行動を制御する一連の信念です。
人と同様に、企業にも価値観があります。

Microsoft の業務遂行基準は、Microsoft の価値観を体現する助けとなります。この価値観には、モバイルファースト、クラウドファーストな世界で進化しながら、最高に倫理的な行動および法的な行動を取るという責任を果たすことも含まれます。

Microsoft の価値観は、私たちが行うすべての交流を通して伝わらなければなりません。

Microsoft の主要な価値観

私たちの責務

報告と助言

倫理的な意思決定をする

誠実さと正直さ

誠実さと正直さは、さまざまな形で示すことができます。特別な状況だけでなく、日常的に私たちが下す決定にも表れます。従業員として、だれも見えていないときでもすばらしい仕事をするよう、私たちは努めます。

オープンさと敬意

他者に対し、オープンな態度で敬意をもって接する人は、業務を遂行する過程は業務そのものと同じくらい重要であるということを理解しています。私たちは、脅迫的である、我慢できない、差別的であると受け取られるような態度を決して取りません。

約束を果たす

責任を果たすという事は、約束を守り、自分が確約したことに関して責任を負うということです。何かをすると口にしたら、本当にそれをするということです。信頼は、このようにして時間をかけて構築されるものです。誠実に約束を果たしてください。

情熱

情熱は、Microsoft のあらゆる場所で見ることができます。私たちには、テクノロジーに対する熱意、そしてテクノロジーを使ってお客様が実現できることに対する熱意があります。私たちは、品質、セキュリティ、プライバシー、信頼性、および誠実なビジネスに対する、お客様やパートナーの期待に応えようと努めます。

大きなチャレンジ

設立当初から、Microsoft は大きなチャレンジに取り組んできました。大きなチャレンジは、特定の業務とはほとんど関係しません。Microsoft にかかわる人たちのビジョン、勇気、不屈の精神のすべてに関係します。それは、Bill Gates のような人たちのことであり、皆さんのような人たちのことです。

自己批判

品質に対する私たちの献身的な取り組みは、Microsoft 製品だけにとどまりません。私たち一人ひとりが、時と共に成長しなければならないのです。私たちは常に、次のような質問を自分自身、そして同僚に問かける必要があります。「どうすればさらによくなってきたでしょうか。次はどうすればもっとうまくできるだろうか。」

私たちの責務

Microsoft の業務遂行基準は、Microsoft の企業としての価値観を拡張したものであり、倫理的な商慣行と法令遵守に努めるという、企業としての持続的な責務が反映されています。

この業務遂行基準は、Microsoft、および Microsoft の全従業員、取締役、執行役、子会社、管理下にある関連会社に適用されます。

この基準は、皆さんが自分自身と Microsoft にとって正しい決定を下す助けとなるように考えられています。Microsoft の従業員が直面する可能性のあるあらゆる問題や状況を網羅することが目的ではありません。また、より詳細なポリシーの代わりとなるものでもありません。皆さんは、リファレンスガイドとして、Microsoft の企業ポリシーと併せてこの基準を活用する必要があります。

❗ 皆さんは、高い倫理基準を維持し続け、誠実さをもって Microsoft の業務を遂行し、Microsoft のポリシーと法律を遵守することが求められます。

- ✓ 業務遂行基準、Microsoft のポリシー、業務に関する法令を **よく読んで理解し、遵守する。**
- ✓ ビジネス慣行やコンプライアンスに関する懸念を解消する場合や、特定の状況における対処方法がわからない場合は、**助言を受ける。**
- ✓ 業務遂行基準、ポリシー、法律および規制上の要件に違反している **可能性を報告する。**
- ✓ **誠実**かつ全面的にあらゆる調査に **協力する。**
- ✓ 業務遂行基準に関する **トレーニングを毎年受け**、トレーニングを修了したら、業務遂行基準を理解したこと、およびそれらの基準を遵守することを **保証する。**

業務遂行基準を読んでいないことや遵守を保証していないことは、業務遂行基準、ポリシー、業務に関する法令に従うという責務を免れる理由にはなりません。

報告と助言

Microsoft は、皆さんの懸念や疑問を聞きたいと考えています。Microsoft では、報復行為は一切禁止されています。

どのような措置を講じるべきかがはっきりしないときは、コンプライアンスに関する懸念を報告し、助言を受ける権利と義務が、皆さんにはあります。

皆さんは、コンプライアンス違反の事実を阻止および発見し、Microsoft の経営部門、人事部門、財務部門、法務および総務部門、コンプライアンス統括担当、またはビジネス コンダクト ラインのメンバーに報告する責任を負います。

皆さんが報告する懸念や問題はすべて、真剣かつ公正に、そして即座に処理されます。Microsoft は慎重に調査を行い、助言を求めてきた人や違反行為の可能性を報告してきた人の機密を保持するために、法律で認められた範囲内で最大限の努力をします。

Microsoft は、良心に基づいて報告をした従業員、調査や監査に協力した従業員、または該当する法令、企業ポリシー、倫理行動基準などに違反する行為への参加を拒んだ従業員に対する**報復行為を一切禁じています。**

また、報復行為に関与した従業員は、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

不正通報ホットラインを利用する

複数の報告方法が用意されています。



フリーダイヤルのビジネス コンダクト ホットライン
1-877-320-MSFT (6738) に電話をかける。米国外
の場合は **1-470-219-7087** にコレクトコールをかける。



Microsoft インテグリティ Web サイト
www.microsoftintegrity.com
を通じて機密レポートを提出する。

不正通報ホットラインとインテグリティ サイトは、24 時間
完全無休で利用できる専用のリソースです。これらのリソー
スは外部のサプライヤーにより運営されていますが、トレ
ーニングを受けた専門担当者が内密に電話や報告に対応
し、Microsoft のコンプライアンス統括担当に報告して適切
な措置を仰ぎます。法律で認められている場合は、匿名で電
話や報告をすることができます。



不正通報ホットラインに電子メールを送信する:
buscond@microsoft.com



コンプライアンス統括担当に手紙を出す:
Microsoft Corporation
Legal and Corporate Affairs
One Microsoft Way
Redmond, WA 98052 USA



機密情報用 **FAX** を送信する: **1-425-708-7177**

疑わしい会計処理や会計監査に関する問題を含む、コンプ
ライアンスに関する懸念や不明な点がある場合は、これらの
報告オプションを活用してください。法律で認められている
場合は匿名での報告も可能です。

その他のリソースを活用する

他にも、次のような方法で報告、助言の依頼、セルフヘルプリソースの活用をすることができます。



Microsoft の経営部門、人事部門、財務部門、法務および総
務部門のメンバーと話をします。



ポリシーやガイダンスへのリンクが記載された、オンライン
版の業務遂行基準 (社内および社外向け) を参照する。



社内ポリシーが公開されている MS ポリシー サイトを参
照する。ポリシーに関する質問や助言について連絡でき
る、所有者と問い合わせ先がすべてのポリシーに記載され
ています。



LCA Web サイトやその他の社内サイトにあるセルフヘル
プリソースを参照する。このようなセルフヘルプリソース
には、ガイダンス、チェックリスト、FAQ、トレーニング、そ
他の学習教材があります。

倫理的な意思決定をする

Microsoft は皆さんに、業務上の意思決定を下すときは、情報を十分に得たうえで正しい判断を下すよう期待しています。業務上の意思決定を下す前に、次の質問を自問するようにしてください。

その決定は、Microsoft の主要な価値観および業務遂行基準と一致していますか？

Microsoft は、問題についてじっくりと考え、Microsoft の主要な価値観や業務遂行基準を含む、利用可能なリソースを活用することを期待しています。

その決定は合法的なものですか？

皆さんに弁護士や法律の専門家のような行動は期待していません。しかし、判断できない場合は質問をしたり、助言を求めたりすることは期待しています。

自分の決定について、他の人に意見を聞くことができますか。

自分の決定を友だち、家族、同僚などと共有することに抵抗を感じるなら、その決定はおそらく間違っています。



「はい」と答えられない場合やよくわからない場合は、さらにサポートや助言が得るまで、決定を下したり、行動を起こしたりしないでください。



業務遂行基準のヘルプは、アイコンで識別できます。



特別な注意を必要とする、業務遂行基準の具体的な要件を強調します。



業務遂行基準の遵守に役立つ情報を示します。

さらに、「その他のリソースを活用する」にあるアイコンも、セルフヘルプリソースや詳細情報を紹介するために使用します。

法令および Microsoft のポリシー を遵守する

Microsoft は世界規模の企業であり、当社のビジネスには数多くの国の法律が適用されます。私たちは毎日、お客様、パートナー、競合他社、同僚、株主、サプライヤー、代理事業者、監督官庁、政府関係者など、さまざまな個人や団体と交流します。私たちはこうしたあらゆる人々に対して、尊敬の念を持って倫理にかなった応対をし、法律上の要件を遵守するよう努めます。

私たちは、誠実さを損なうよりは、ビジネス チャンスを逃すことを選びます。

国際的な事業活動
知的財産
公正な競争と独占禁止
調査、査察、取り調べ
汚職防止
貿易統制
贈答品と接待
ロビー活動
購入に関する決定や慣行
サプライヤー
代理事業者



01. 国際的な事業活動

Microsoft は、国際市場で遭遇する多様な文化、習慣、商慣行を認識し、尊重します。Microsoft は、事業運営について定められた米国の法規だけでなく、事業を営むすべての地域の法律も遵守します。

02. 知的財産

私たちは、Microsoft または他の個人や企業が所有する著作権、商標、特許、企業秘密、およびその他の知的財産について、それらの権利と保護に関して定められた法規を遵守します。

03. 公正な競争と独占禁止

私たちは、健全な競争を促進するために定められた法規を遵守します。独占禁止法や公正な競争に関する法律では一般に、取引や競争を制限する活動が禁止されています。私たちは業務の運営にあたって、そうした法律を遵守します。

04. 監督官庁による調査、 査察、取り調べ

私たちは、監督官庁の担当者や政府職員との協議に、正直かつ率直に、誠実な態度で臨みます。調査、査察、取り調べを受けるにあたっては、法務および総務部門と連携して協力し、適切な情報要求に速やかに応じます。

05. 汚職防止

Microsoft は、政府関係者の買収やどのような種類の贈賄またはリベート提供についても、対象が公務員であるか民間企業の個人であるかにかかわらず禁止します。

Microsoft は、米国の海外不正行為防止法 (United States Foreign Corrupt Practices Act) で規定されている行動規範、および Microsoft が事業を営むすべての国々の不正行為防止法やマネーロンダリング防止法で規定されている行動規範の遵守に努めます。

賄賂やリベートの支払いや受け取りを拒否し、その結果ビジネスの機会を失ったとしても、Microsoft の従業員や代理事業者が不利益を受けることはありません。

 汚職防止ポリシー

 政府関係者と汚職防止



❗ Microsoft の汚職防止 ポリシーのキーポイントを 理解するには:

- ✓ だれに対しても賄賂の申し出や支払いをしない。
- ✓ 自分の代理事業者について知る。
- ✓ 慈善団体への寄付は政府関係者のためにならない場合がある。
- ✓ 透明性の高い取引を行う。
- ✓ 政府関係者の旅費や宿泊費は、適切なものでなければなら
ない。また、事前承認を受ける必要がある。
- ✓ 政府関係者に対する贈答品や接待は、頻繁に行わず、妥当な
ものである必要がある。
- ✓ 採用の決定は政府関係者の便宜のために行われて
はならない。
- ✓ 便宜を図ってもらう目的の支払いは禁止
されている。
- ✓ マネー ロンダリングは禁止されている。
- ✓ 正確な帳簿と記録を付ける。
- ✓ 実際の違反行為または疑わしい違反行
為を報告し、助言を求める。
- ✓ 懸念の報告に対する報復行為は認めら
れていない。



06. 貿易統制

Microsoft は、Microsoft のソフトウェア、製品、デバイス、コンポーネント、サービス、および技術データの輸出、再輸出、輸入、使用に関連する法規を遵守します。Microsoft、および Microsoft の製品、サービス、資産の国際流通にかかわるサプライヤーやパートナーは、このような貿易統制に従う義務を負います。

 国際貿易コンプライアンス ポリシー



貿易統制に関する重要な情報

TradeNet

全従業員が、貿易上のコンプライアンスに対する責任を認識する必要があります。Microsoft の製品および/またはサービスの設計、製造、販売、または保守を担当している場合は、TradeNet 社内サイトでガイドラインの概要を確認してください。

制裁措置

世界での政治的な出来事は Microsoft のポリシーに直接影響します。なぜなら、政府機関は国や個人に対して輸出禁止という制裁措置を発動できるためです。このような制裁措置は、Microsoft のポリシーに直接影響します。その内容は、クラウド サービスおよびデバイス提供の禁止から、集めた収益の凍結や国、企業、個人への金銭的な払い戻しまで、多岐にわたります。

暗号化されたデバイス

お客様のデータを保護するために、Microsoft 製品は暗号化することができます。多くの国が、出荷開始前の物理的および電子的な流通に対し、暗号化された製品の輸出および輸入を規制しています。

輸出コンプライアンスの条件

皆さんが契約書の作成、取引先契約の交渉、または国際輸出規制に違反しないよう Microsoft を保護する契約に基づく活動を行う場合、標準の輸出条項を使用するか、交渉の場合は Microsoft 国際貿易組織と直接話し合う必要があります。

クラウド サービスの輸出規制

クラウド サービスおよびデータの輸出規制が設けられています。潜在的なクラウド サービスのお客様は、国際的な輸出および暗号化規制を遵守してデータがホストされるという保証を求めることができます。



TradeNet



標準的な輸出規制



国際暗号化規制

07. 贈答品と接待

Microsoft は、ビジネスの場で贈答品や接待の授受を行う際、適切な判断、分別、節度を働かせることを求めています。贈答や接待の慣行は文化圏によってさまざまに異なりますが、贈答品や接待の授受を行う際は、法律を遵守し、提供者や受領者のポリシーに反しないようにして、地域の習慣や慣行に従う必要があります。

私たちは、Microsoft が現在または将来ビジネスを行う個人や企業に対して、贈答品、接待、または価値ある便宜の提供を求めません。また、サプライヤー、パートナー、お客様に対して贈答品や接待の提供を暗に強要するような行為をしたり、Microsoft との取引または取引継続を目的として個人的な要求を行ったりすることもしません。

! 贈答品と接待の基本を理解するには:

授受される贈答品や接待は、次のようなものである必要があります。

- ✓ 妥当なものである。
- ✓ 正当なビジネス目的がある。
- ✓ Microsoft の利益を最優先する、自主的な判断の妨げとならない。
- ✓ 法律を遵守している。
- ✓ 地域の習慣や慣習に従ったものである。
- ✓ 提供者および/または受領者のポリシーに反しないものである。

贈答品の中には、常に禁止されているものがあります。

- 現金または現金に相当するもの。
- 賄賂やリベートなど、不正を目的とするすべてのもの。
- 自己資金を使用して、ポリシーで禁止されていることを行うこと。
- 政府関係者の友だちや家族に対する贈答品や接待。
- 不正行為となったり、Microsoft の立場を危うくしたりする可能性がある価値のある物すべて。

 **ギフト、接待、トラベル ポリシー**

 **政府関係者に対する贈答品と接待**

 **政府関係者の交通費と宿泊費**

 **ギフト、接待、トラベル**

08. ロビー活動

私たちには、Microsoft と事業運営に影響を与える問題についてロビー活動を行う権利と責任が認められています。私たちは、適用される政治的なロビー活動規制を遵守します。



09. 購入に関する決定や慣行

購入の決定、交渉、契約の策定、および契約の管理にあたっては、それらの関係について定められた法規を遵守し、サプライヤーにも同じことを期待します。

 職務上の調達規範



10. サプライヤー

Microsoft のサプライヤーは、最高の水準で倫理にかなった行動をとり、規制コンプライアンスを守り、Microsoft の利益を最優先として業務にあたる必要があります。サプライヤーには、高品質のサービスや製品を提供しつつ、柔軟性とコスト効率を維持することが求められます。すべてのサプライヤーが、Microsoft サプライヤー業務規範を確認して遵守し、サプライヤー規範の要件について職員をトレーニングする必要があります。

すべてのサプライヤーが、Microsoft 代理事業者向け腐敗防止ポリシーを確認して遵守し、腐敗防止法の遵守について従業員や職員をトレーニングする必要があります。

11. 代理事業者

チャネルパートナー、Microsoft Partner Network メンバー、およびその他の Microsoft の代理事業者は、Microsoft の製品やサービスを販売、配布、マーケティングする際、最高の水準で倫理にかなった行動をとり、規制コンプライアンスを守り、Microsoft の利益を最優先として業務にあたる必要があります。すべての代理事業者が、Microsoft 代理事業者向け腐敗防止ポリシーを確認して遵守し、腐敗防止法の遵守について従業員や職員をトレーニングする必要があります。

Microsoft 代理事業者は、公的機関か民間機関かにかかわらず、Microsoft と取引をしている、または今後取引することを目指している、どのようなサードパーティにも不適切な利益を得る目的で賄賂を支払ったり、支払いを申し出たり、有価物を提供することはありません。

i Microsoft は、サプライヤー、パートナー、およびその他の代理事業者が Microsoft の代理として業務を遂行する際、最高の水準で倫理にかなった行動をとり、規制コンプライアンスを守ることを期待しています。

従業員は、「自分の代理事業者について知る」に記述されているガイドラインに従う責任があります。また、誠実さに定評がある、認定された正規の代理事業者とのみ取引を行う必要があります。



Microsoft の代理事業者向け腐敗防止ポリシー



Microsoft パートナー向け腐敗防止トレーニング



Microsoft サプライヤー業務規範



Microsoft サプライヤー コンプライアンス トレーニング

情報の管理 と保護

私たちのだれもが、業務を行う過程でさまざまな種類の情報を作成、使用、そして知ることになります。このような情報を適切に管理し、保護することは、誠実さを持って Microsoft の業務を遂行し、法律を遵守して業務に取り組み、高い倫理基準を維持するために重要です。

機密情報および専有情報
情報に関する公正な慣行
情報管理
インサイダー情報と証券取引
競合企業情報
ソーシャル メディア



12. 機密情報および専有情報

私たちは、Microsoft の機密情報および専有の非公開情報を保護し、Microsoft の業務遂行に必要な場合に限りそうした情報を伝達する、倫理上および法律上の責任を負います。これらの情報を個人の利益目的で、または Microsoft の業務以外の目的で利用することはせず、Microsoft との雇用関係が終了した後もこの守秘義務を維持します。

 機密情報ポリシー

 ソーシャル メディアの利用ガイドライン

機密情報および専有情報を保護するには:

- ✓ Microsoft の機密情報を友だち、家族、Microsoft の元同僚や元従業員に**伝えない**。
- ✓ 会社のカフェテリア、安全でない廊下やロビーなど、第三者の耳に入る可能性がある公共の場所で機密情報について**話さない**。
- ✓ 第三者の目に触れる可能性がある場合は、機密情報が含まれているドキュメント（ハード コピーか電子ドキュメントかを問わない）を公共の場所で**使用しない**。
- ✓ 機密情報については必要に応じてのみ**協議する**。
- ✓ イン트라ネットや SharePoint サイトに掲載されている機密情報へのアクセスを常に**制限する**。
- ✓ ソーシャル メディアの利用ガイドラインと機密情報ポリシーを**確認する**。

13. 情報に関する公正な慣行

Microsoft の事業は情報管理のテクノロジーを中心として構築されており、そうした情報を内密かつ誠実に取り扱います。インターネット ユーザーにとって信頼できる環境作りに取り組み、その中心的な業務としてオンラインプライバシーの保護に継続的に努めます。Microsoft は、個人が各自のオンライン プライバシーの保護を強化するのに役立つプライバシー慣行を採用しており、技術的な解決策を開発しています。私たちは引き続き、消費者がインターネットの利用中にそうしたツールを利用して個人情報管理できるよう、消費者の教育に努めます。



<http://privacy>

14. 情報管理

私たちは、通常の業務過程の一部として、Microsoft の業務記録と情報資産(書面と電子の両方の形式)を作成、保持、および廃棄します。Microsoft は、法的な義務と長期的なビジネスニーズを示した、規範となる保持要件、ベストプラクティス、ポリシーを提供します。



ドキュメント保持ポリシーと Microsoft の保持スケジュール

15. インサイダー情報と証券取引

私たちは、Microsoft の業務運営を通して、またはお客様、ベンダー、パートナーとの打ち合わせの中で、それらの組織に関する非公開の資料や情報を扱うことがあります。

そうした情報は、対象企業の公開証券に関する取引の決定において通常の投資家が重要だと考える見込みがかなり高い場合には、"マテリアル(重要な情報である)" と見なされます。そのような情報にアクセスできる個人は "インサイダー" と呼ばれます。そうした情報については、関係者のみが必要に応じて社内で極秘に議論し、Microsoft 以外の人間には一切知らせません。

また、そうした情報をもとに当社を含む対象企業の公開証券を売買したり、そうした情報を提供 (内報) したりすることもしません。"インサイダー取引" や "内報" に関する分析は複雑であり、関連する罰則も厳しいため、重要な非公開情報を所有している可能性がある場合は、法務および総務部門に連絡してから公開証券を売買してください。

❗ インサイダー取引を回避するには:

- ✓ 重要な非公開情報を知った場合、Microsoft の株を取引することはできない。
- ✓ 重要な非公開情報を、Microsoft の株式を取引しようとする第三者に開示 ("内報") することはできない。
- ✓ Microsoft での職務を通じて得た重要な非公開情報 (Microsoft の買収交渉が保留になったことを知った、など) を保持している間に、別の企業の株式を取引したり、内報したりすることはできない。
- ✓ Microsoft の幹部 (副社長以上)、または業務を通して重要な非公開情報に常にアクセスできると Microsoft が判断した従業員は、各四半期の決算発表後、特定の期間内に Microsoft の株式のみを売買することができる。



インサイダー取引に関する一般的なポリシー

16. 競合企業情報

Microsoft には、競合他社に関する情報の取得など、業界の情勢に後れを取らずについて行く義務と権利があります。競合他社の情報の入手にあたっては、誠実で倫理にかなった合法な手段を利用するよう努めます。

 競合他社情報に関するポリシー

17. ソーシャル メディア

Microsoft は、今日のコミュニケーションと社会におけるソーシャル メディアの役割を認識しています。ソーシャルメディアやネットワークに参加する際は、機密情報を保持し、正しい判断を下します。

 ソーシャル メディアの利用ガイドライン

 機密情報ポリシー

❗ ブログやソーシャルメディアサイトに投稿する際の注意事項:

- ✓ Microsoft との関係を**明らかにする**。
- ✓ 機密情報を**保護する**。
- ✓ 自分の発言はすべて会社の公式発表と見なされる可能性があることを**認識する**。
- ✓ 常に正直かつ正確であり、倫理的であることを**心がける**。
- ✓ 自分が公表する立場にないことは**公表しない**。ただし、会社が公表した主要なことはサポートする。
- ✓ 自分の行動がもたらす結果を**理解する**。



責任を持って業務 を遂行し、世界中 のコミュニティに 貢献する

Microsoft は、公的な責任を果たし、世界各地のコミュニティの人たちのニーズに応える取り組みを続けています。私たちは、責任あるグローバル企業の従業員です。お客様、エンドユーザー、パートナー、および株主と信頼し合える関係を構築して維持します。

責任あるビジネスリーダーシップ

企業市民活動と社会奉仕活動

人権

政治活動と社会貢献

品質

持続性



18. 責任ある ビジネスリーダーシップ

私たちは、お客様、消費者、パートナー、関係者、その他の対象者の安心、尊敬、信頼を保持するために、責任を持って事業運営にあたります。私たちは、誠意を持って行動し、新製品の開発に注力し、お客様やパートナーに責任を持って応対し、業界におけるリーダーシップを保つよう努めます。私たちは、テクノロジーとビジネスのグローバルリーダーであるがゆえに生じる責任を理解し、産業界とグローバルなビジネス コミュニティの双方において独自の役割を果たします。

19. 企業市民活動と 社会奉仕活動

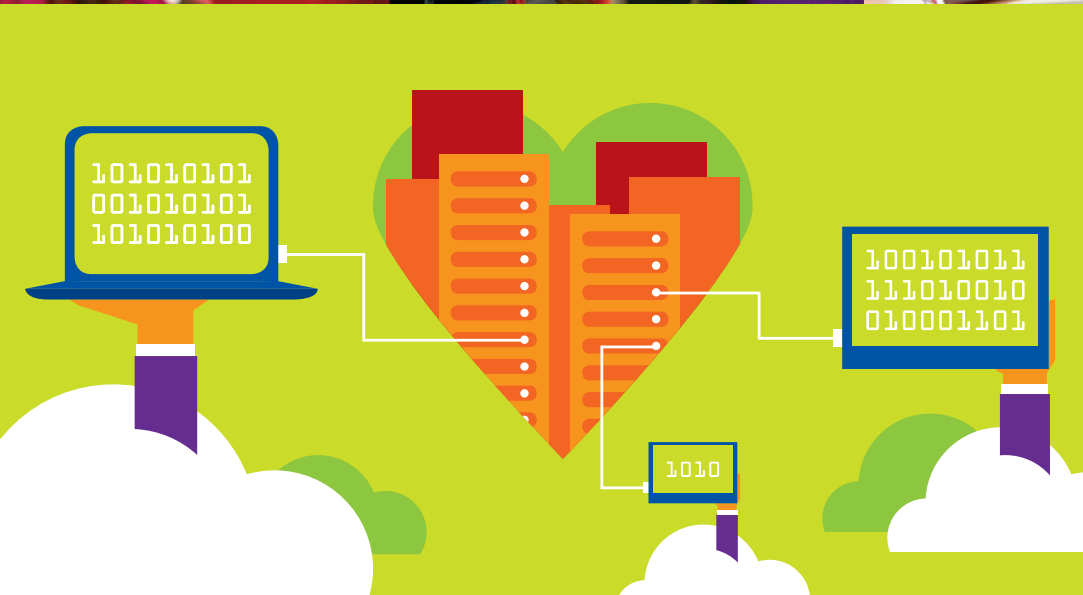
Microsoft は、事業を営んでいる社会やコミュニティの発展に積極的に取り組んでおり、そうした姿勢を内外に示しています。また、慈善活動、市民活動、教育活動、文化活動の支援を奨励しています。具体的には、寄付、ボランティア活動、ソフトウェア、技術支援などの形で貢献しています。



<http://citizenship>



<http://give>



20. 人権

Microsoft の人権に対する取り組みは、人々を支援するという使命に組み込まれ、Microsoft の事業を通して最大限に実現しています。私たちは、Microsoft が提供する製品やサービス、事業運営全体を通して広く認められている人権を尊重するという、重要な責任を認識しています。さらに、テクノロジーの力を活用して世界中で人権が尊重されるようにすることを目指しています。

Microsoft の世界人権についての声明では、Microsoft の取り組み、哲学、アプローチが表明されています。また、Microsoft の従業員やお客様、サプライヤーが雇用している作業員、Microsoft の事業上の決定が影響するその他の人々たちに対する私たちの責任が明記されています。Microsoft ユーザーの表現の自由とプライバシーは、Microsoft が保護しようと取り組ん

でいる重要な基本的人権です。Global Network Initiative ("GNI") の創立メンバーとして、Microsoft は“表現の自由とプライバシーに関する GNI の理念”の実践に取り組んでいます。

GNI およびその他の人権への取り組みを果たすために、Microsoft は、そのすべてのオンラインサービスとコミュニケーション サービスにおいて、表現の自由とプライバシーに対するユーザーの権利を尊重および保護するポリシーと慣行を策定しています。これには、コンテンツの削除やユーザーの個人情報の開示を政府機関から要求された場合の責任ある対処に関するポリシーも含まれます。



<http://citizenship>

i グローバル企業として、Microsoft は重要な人権問題の解決に日々取り組んでいます。



Microsoft の世界人権についての声明は、以下と合致しています。

- United Nations (UN) Guiding Principles on Business and Human Rights (国際連合 (UN) ビジネスと人権に関する指導原則)
- UN Universal Declaration of Human Rights (UN 世界人権宣言)
- UN International Covenant on Civil and Political Rights (UN 市民のおよび政治的権利に関する国際規約)
- UN International Covenant on Economic, Social, and Cultural Rights (UN 経済的、社会的および文化的権利に関する国際規約)
- International Labour Organization Declaration on Fundamental Principles and Rights at Work (労働における基本的原則および権利に関する国際労働機関宣言)

21. 政治活動と社会貢献

従業員は、政治活動に参加する権利を行使するよう奨励されています。政治活動への関与に関してどのような決定を下すとしても、完全に個人の自由です。

従業員は、自分自身の時間とリソースの下で個人的な政治活動を行います。



Microsoft 従業員によるパブリックアドボカシーに関するポリシー

22. 品質

Microsoft の成功は、魅力的な新製品や新サービスを開発すると同時に、お客様やパートナーと強固な信頼関係を築けるかどうかにかかっています。私たちのビジネスの核となるのは、お客様の話を聞き、対応することです。私たちは、オンラインフィードバック、サポートコミュニティ、製品満足度アンケート、ユーザビリティ調査、調査フォーラム、カスタマーサービス担当者を通して、こうした関係を維持します。

こうした取り組みから得られる情報は、お客様やパートナーが経験したことを理解して対応するのに役立ちます。



<http://cpe>

23. 持続性

テクノロジーは、より持続可能な未来を創り出す助けとなります。Microsoft は、私たちの活動が環境と社会に与える影響を最小限に抑える、持続可能な業務運営をしています。私たちは、効率化への取り組みを通して事業運営の効率を高め、再生可能エネルギーを購入して環境に配慮し、社内全体で炭素使用料を多段階にすることでさらに責任を果たしています。



<http://environment>



ダイナミックで 多様な職場環境 の提供

競争の激しい、急速に変化し続ける業界における Microsoft の成功の原動力となっているのは、従業員の熱意です。トップの座を維持するには、世界中で最高の人材を採用し、その可能性に投資する必要があります。優秀な人たちを惹き付け、つなぎ止めるために、Microsoft は、コラボレーションを育み、個人としての成長そして仕事上での成長を称える、ダイナミックで多様な職場環境を提供しています。

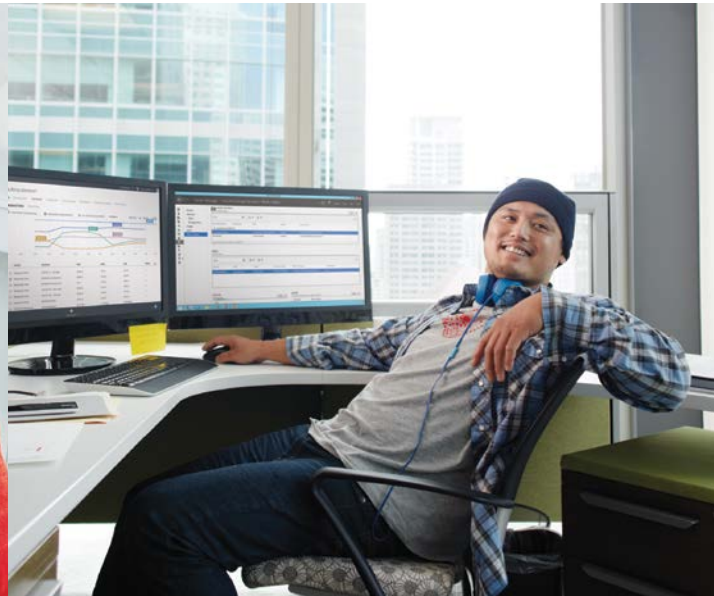
オープンさ、誠実さ、敬意

多様性

雇用機会均等

情報と技術の利用

安全性と衛生管理



24. オープンさ、誠実さ、敬意

私たちは相互の人間関係の中で、アイデアや考え方を伝えたり意見を聞いたりする際に、オープンな心で誠実に、敬意を持って対応するよう努めます。

25. 多様性

Microsoft は、会社のあらゆるレベルで、従業員の多様性を推進し支援します。私たちは、多様な人材を惹き付けてつなぎ止め、十分に活躍してもらえる職場環境を構築することが、製品やサービスの技術革新や創造性の向上につながるものと考えています。



<http://hrweb/lifeatmicrosoft/diversity>

26. 雇用機会均等

Microsoft は、従業員の文化的および民族的な多様性をサポートすることにより、協力的で生産的な職場環境の構築を促進します。私たち全員の課題は、違いを尊重し、理解することを通して、会社のパフォーマンスを高めることです。

Microsoft は、資格がある全従業員と求職者に雇用機会を均等に提供するというポリシーに力を入れています。この取り組みは、Microsoft の日常業務のあらゆる面に反映されています。Microsoft は、採用、雇用、研修、報酬、昇格、懲罰など、どのような人事実務においても、人種、皮膚の色、性別、性的指向、性同一性障害、性別表現、宗教、国籍、婚歴、年

齢、心身障害、軍役経験の有無、または遺伝に関する情報に基づく差別を行いません。また、個々の従業員が勤務する州または地域の適用法で保護されている、その他の特徴に基づく差別をしません。

保護されている障害を持つ従業員には、連邦法、州法、または個々の従業員が勤務する地域の法律が求める範囲において相応の便宜を図るというのが、Microsoft のポリシーです。

雇用機会均等に関するポリシー

27. 情報と技術の利用

私たちは、Microsoft が提供するテクノロジー、デバイス、サービス、および関連コンテンツにアクセスして利用する際、どのようなときも、良識と常識をもって、倫理的、合法的、職業的に振る舞い、適用される許可手続きに従います。

会社のデバイスやサービスを利用するにあたっては、威嚇的、攻撃的、脅迫的、虐待的、わいせつ的、またはその他の不快、または不適切なマテリアルにアクセスしたり、そうしたマテリアルを作成、保存、印刷、要求、送信したり、虚偽、中傷、または悪意のあるメッセージを送信したりすることはしません。

 わいせつ的またはその他の不快なマテリアル

 情報技術の利用ガイドラインとポリシー

 会社でのアクセス、および情報と資産の監視

28. 安全性と衛生管理

Microsoft は、しっかりした安全性と衛生活動を事業運営に統合することにより、安全で健全な職場環境の構築に取り組んでいます。私たちは、適用される職場の安全性と衛生管理に関する規制を遵守します。



<http://lcaweb/policies/workplace>



責任を持って Microsoft 資産 を管理する

毎日、私たちは Microsoft の資産とリソースの管理を任されています。私たちはこうした資産を、責任を持って使用します。個人的な利益のためには使いません。Microsoft の利益を最優先して誠実かつ正直に行動します。自己取引、および実際の利益相反または疑わしい利益相反を避けます。

財務に対する誠実さ
利益相反
財政責任
資産の利用と保護
サードパーティソフトウェア
コミュニケーション



29. 財務に対する誠実さ

私たちは、業務情報を誠実かつ正確に記録し報告します。記録の完全性と正確性に関して適用される地域、州、連邦の法律を遵守します。私たちは、Microsoft の資産に対する経理責任が保たれるよう、経営部門の承認に従って財務取引を実行し、適切な方法で記録しなければなりません。Microsoft の財務情報には実際の取引のみが反映されており、Microsoft およびその他の会計実務に従っています。また、CEO、CFO、財務担当者、その他の財務部門担当従業員は、Microsoft のポリシーも遵守する必要があります。

 Microsoft 職務上の財務規範

 財務に対する誠実さに関するポリシー

❗ 禁じられている取引:

- ✓ **サイドアグリーメント:** 契約書には契約内容全体が反映され、Microsoft と契約相手が合意したすべての条件や譲歩が含まれている必要があります。
- ✓ **非標準の請求または支払いの取り決め:** Microsoft の契約上の取り決めと矛盾する内容に、請求条件を変更しないでください。
- ✓ **非標準の取り決め:** Microsoft の標準の取り決めテンプレートおよびプロセスの代わりに、非標準の取り決めを使わないでください。
- ✓ **不適切な取引:** 個人的な利益を得たり第三者に不適切な利益を与えたりするために、取引や契約を構築、操作しないでください。収益、ノルマ、予算の操作は禁じられています。



30. 利益相反

私たちは、Microsoft の利益を最優先させ、個人的な利益を追求したり、忠誠の対象を迷ったりせず、正しい判断を下します。

実際に利益相反がある場合はもちろん、そう見えてしまう行為も避けてください。

皆さんは、利益が相反している状況を明らかにし、必要な場合はマネージャーや人事部門のビジネス パートナーに助言を求めるよう期待されています。



！ 利益相反を認識するには:

合理的に考えて従業員が Microsoft の利益を最優先して行動しているかどうか疑わしい場合、利益相反が生じています。利益相反は、次のようなさまざまな状況で生じることがあります。

- Microsoft の従業員、サプライヤー、パートナー、お客様の従業員と家族関係や恋愛関係にある場合
- 贈答品、接待、旅行
- 仕事以外の活動
- ベンダーやパートナーに雇用されている家族との付き合い
- 家族を雇用しているベンダーやパートナーとの付き合い
- 自分または家族に金銭的な利害関係があるベンダーやパートナーとの付き合い

✓ **報告する:** 利益相反が実際にある、または利益相反が疑われる場合は、何か行動を起こす前に、すぐにマネージャーに報告します。

✓ **除外または修正する:** 利益相反を報告したら、次のように対処します。

- ほとんどの場合、利益が相反する状況から自ら退く必要があります。
- マネージャーの承認を得た場合は、利益相反を修正する措置に取り組むことが認められます。

✓ **利益相反ツールを使用して公表し、承認を得る。**

📄 利益相反

📄 従業員・ベンダー間の利益相反

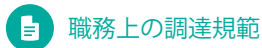
📄 Microsoft 外での従業員の副業

📄 Microsoft における家族関係および恋愛関係

👤 利益相反ツール

31. 財政責任

私たちは適切に財務管理を行い、責任ある方法で Microsoft の資金を使います。



32. 資産の利用と保護

私たちは、財産 (物理的財産と知的財産の両方)、補給品、消耗品、設備などを含む Microsoft の資産を有効に活用し保護します。これらの資産は Microsoft の事業目的にのみ利用します。

33. サードパーティソフトウェア

私たちは、関連ライセンスや利用規約、適用法で "公正使用" などとして認められている場合に限り、ソフトウェアやその他のコンテンツ情報を使用します。法務および総務部門が適用法によって認められると判断した場合を除き、ライセンスが供与されていない、著作権のあるマテリアル (ソフトウェア、ドキュメント、グラフィック、写真、クリップアート、アニメーション、動画やビデオ クリップ、音声、楽曲など) の複製を作成または利用することは禁じられています。

 著作権に関するポリシー

 <http://lcaweb/policies/employeeconduct/copyrighted>

34. コミュニケーション

私たちは、明快で、正直で、開かれたコミュニケーションを確立、維持し、互いの言葉に真摯に耳を傾け、信頼と尊敬と相互理解に基づく関係を構築します。

Microsoft は、米国証券取引委員会やその他の広報機関に提出するレポートやドキュメントについて、完全で、公正で、正確で、タイムリーで、わかりやすい開示を行うという規範を適用します。

私たちは、お客様、消費者、パートナーのニーズに対して責任を持って、真剣に対応します。Microsoft の広告、販売、販売促進資料については、不当な主張のない、誠実で正確な表現に努めます。

 業界アナリストによる金融情報の開示に関するポリシー

 Microsoft Corporation の情報開示に関するポリシー

 <http://lcaweb/marketing>

Microsoft の業務遂行 とコンプライアンス プログラム

管理と施行

Microsoft の業務遂行基準、および業務遂行とコンプライアンスプログラム ("プログラム") は、Microsoft の取締役会の承認と全面的なサポートを受けています。取締役会と経営層は、業務遂行基準の遵守と施行を監督する責務を負います。

プログラムの顧問は Microsoft の最高コンプライアンス責任者 (CCO) として、プログラム全体の管理責任を負います。顧問は CEO に直接報告を行い、その目的のために取締役会監査委員会に報告を行います。顧問は、次席法務顧問および法律顧問室担当副社長を通して、法令遵守事務局 (OLC) を監督します。

OLC は、数ある責務の中でも特に、業務遂行基準の適用と解釈、倫理およびコンプライアンスに関する懸念の受け付けと調査の管理、コンプライアンスに関するトレーニングや伝達事項の公表、コンプライアンス違反防止策の策定と導入のサポートを行います。OLC は、次席法務顧問および法律顧問室担当副社長直属のコンプライアンス統括担当によって管理されます。次席法務顧問およびコンプライアンス統括担当は、取締役会監査委員会に直接連絡を取り、報告する義務を負います。プログラムの管理にあたって、OLC は、法務および総務、財務、人事、内部監査の各部門、およびコンプライアンスの実現に注力しているその他のグループと密接に連携します。

基準違反がもたらす深刻な結果

業務遂行基準違反は禁じられています。違反した場合、解雇を含む懲戒処分を受ける可能性があります。また、民事または刑事責任を問われる可能性もあります。個人が他者による違反の報告を故意に怠った場合にも、懲戒処分の対象となる可能性があります。

他の人物に危害を加えることを目的として違反の可能性について故意に虚偽の報告をした従業員は、懲戒処分の対象となる可能性があります。

基準の不適用

取締役または役員の業務遂行基準の規定を免除できるのは、取締役会のみです。取締役または役員に認められた規定免除は、NASDAQ の上場基準、および適用される法律、規則、規制の求めに応じて公開されます。

このブックレットのバージョン情報

このブックレットの最新バージョンが従業員に配布されます。最新版の業務遂行基準は、Microsoft.com および LCA Web で確認できます。

"Microsoft" および "従業員" の定義

特に断りのない限り、"Microsoft" とは、すべて Microsoft Corporation とその子会社および Microsoft Corporation が議決権の 50% 超を直接的または間接的に有する関連会社 ("支配下の関連会社") のことを指します。"従業員" とは、すべて米国 Microsoft Corporation とその子会社または支配下の関連会社の取締役、役員、社員のことを指します。

業務遂行基準は、労働契約の作成を目的とするものではなく、労働契約を作成するものでもなく、Microsoft とその従業員との間に契約上の権利を生じさせるものでもなく、特定の状況における特定の処遇について明示的または黙示的な約束を取り交わすものでもありません。Microsoft との雇用関係は、地域の法律、労働契約、または権限のあるバイス プレジデントによる署名入りの書面契約によって禁止されている場合を除いて、任意の理由で、または理由なく、いつでも終了する可能性があります。

このブックレットは、カーボンニュートラルな施設で、大豆から作られたインクを使用したサステナブルな方法で印刷されています。この製品に使用する紙のライフサイクル、輸送、および印刷による温室効果ガスの排出を、エネルギー効率化および化石燃料に頼らないエネルギー技術への投資を通じて相殺されています。



報告方法



ビジネス コンダクトライン: 1-877-320-MSFT (6738)
米国以外: 1-470-219-7087



Microsoft インテグリティ Web サイト:
www.microsoftintegrity.com



ビジネス コンダクトラインに電子メールを送信:
buscond@microsoft.com



Microsoft Corporation,
Legal and Corporate Affairs
One Microsoft Way
Redmond, WA 98052 USA



Fax: 1-425-708-7177

ブックレットで使用 されているアイコン



業務遂行基準の具体的な要件



業務遂行基準の遵守に役立つ情報



Microsoft ポリシー



セルフヘルプ リソース



オンラインの業務遂行基準 (社内外向け)